

平成21年4月27日

各位

上場会社名 株式会社 ミクニ  
 代表者 代表取締役社長 生田 久貴  
 (コード番号 7247)  
 問合せ先責任者 取締役 執行役員 財務・経理統括部長 櫻井 榮一  
 (TEL 03-3833-0392)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月2日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	90,000	200	△800	△1,500	△44.20
今回発表予想(B)	87,500	△550	△1,400	△2,450	△72.20
増減額(B-A)	△2,500	△750	△600	△950	
増減率(%)	△2.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	98,457	3,052	2,193	△317	△9.35

### 修正の理由

世界経済の悪化の影響により、自動車関連市場など急激な需要の減少に伴う当グループへの影響につきましては、平成21年2月2日付にて「業績予想の修正」として適時開示させていただきました。

その後の状況におきまして、アジアの連結子会社の収益状況は、円高の影響及び第4四半期における需要の低迷の影響を受けておりますが、総じて堅調に推移しました。一方、北米及び国内市場は想定以上に低迷しており、その影響を受け、当社及び国内の連結子会社の特に期末における収益状況は悪化している状況であります。

このような状況の中、為替が想定よりも円安に推移しましたが、これまで行ってきた労務費・経費等の改善策で補うことができないほど、当社及び国内連結子会社の売上の減少が見込まれ、それによる損益への影響に加え、税金費用の増加も見込まれるため、業績予想を修正することになりました。

なお、配当予想につきましては、平成21年3月23日付にて適時開示いたしました通りであり、変更はございません。

また、このような極めて厳しい状況に対し、当グループは、役員報酬の減額をはじめとした経費削減策を実施するとともに、合理化のための生産再配置等を含めた以下の改革・改善策を引き続き断行する所存であります。

- (1) 更なる原価低減、コスト改革を推進すべく、調達方法や生産再配置をはじめとしたグループ各拠点機能の強化を図る。
- (2) 製品毎の事業性を再検証し、製品あるいは事業の再構築を行う。
- (3) 個々の生産性向上に努め、総労務費・経費の更なる削減を行う。
- (4) 中・長期的視点での研究開発投資は確保しながらも、短期的には増産のための設備投資を抑制する。
- (5) 急激な需要の変化に対応した生産体制を構築し、より一層の在庫削減を行う。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

以上